



20年に感謝、そして未来へ。



大府商工会議所創立20周年記念誌



大府商工会議所創立20周年記念誌

発行日：令和4年9月

編集：大府商工会議所20周年記念事業実行委員会 記念誌部会

発行者：大府商工会議所

〒474-8503 愛知県大府市中央町五丁目70番地

TEL.0562-47-5000 FAX.0562-46-9030

大府商工会議所

20年に感謝、そして未来へ。



大府商工会議所 会頭
鬼頭 佑治

本年、大府商工会議所は創立20周年を迎えることができました。これも、歴代会頭を始め役員、議員、会員の皆様方の絶大なるご支援ご協力と関係各位のご指導の賜物と、心から感謝を申し上げる次第です。

大府商工会議所は、地域経済の振興と発展を目的として当市の経済人が相集い、平成14年4月に創立されました。以来20年間、地域唯一の総合経済団体としての役割を果たすべく、大府市の産業と経済の振興に取り組んでまいりました。

これまでの20年間を顧みますと、創立の年は小泉総理の北朝鮮訪問による日朝首脳会談がきっかけとなり、北朝鮮による拉致問題への関心が一気に高まりました。また、銀行の不良債権問題を解決するため、金融再生プログラムが発表されたのもこの年であり、経済成長率は0.1%という状況でした。その後も郵政の民営化、高齢化率の21%越えによる超高齢化社会への突入、リーマン・ショック、東日本大震災、消費税率の引き上げなど、様々な試練に見舞われながらも、地域の経済界が一体となり、その知恵と工夫と行動力で困難を乗り越え、今日を迎えることができました。

創立20周年の記念スローガンは「20年に感謝、そして未来へ。」今日の隆盛の基盤を築いていただいた先輩各位のご努力に対する感謝を表すとともに、大府商工会議所の事業、運営に対し、日頃から深いご理解を賜り、ご指導、ご協力いただいております国、愛知県、大府市をはじめとする関係機関、そして会員各位への感謝を表現しました。そして、先人の努力と実績を糧に、この創立20周年を契機として未来に向けて、強く豊かな大府を創る決意を表しております。

現在、中小企業や地域経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、昨年来の資源価格の高騰や円安基調に加えて、ロシアのウクライナ侵攻が重なり、多大な影響を受けております。また、人口減少や高齢化、働き方改革、百年に一度といわれる自動車産業革命やカーボン・ニュートラルなど、構造的な社会課題への対応も求められています。

今まさに、商工会議所の真価が問われる状況の中で迎えた創立20周年となりましたが、その節目に当たり、商工会議所活動の原点である「地域商工業の発展」と「事業所の活力強化」を改めて肝に銘じ、事業者の皆様にご寄り添い、共に考え、共に歩みを進めてまいりたいと思います。関係各位の格別のご支援とご指導をお願い申し上げます。

結びに当たり、会員の皆様、関係機関の皆様方の今後ますますのご繁栄とご活躍、ご健勝を心より祈念いたしまして、私のごあいさつといたします。

令和4年9月吉日

20年に感謝、そして未来へ。



大府商工会議所 創立20周年記念誌

目次

01	大府商工会議所会頭あいさつ
03～04	お祝いメッセージ
05	歴代正副会頭
06～08	現議員紹介・組織図
09～10	大府商工会議所発足と創立10周年
11～12	年表
13～24	大府商工会議所のあゆみ
25～26	青年部と女性会
27～30	正副会頭座談会～大府の未来～
31～32	会報誌のあゆみ
33～34	まっちふる大府 特集記事
35～36	大商工会議所会員の声
37	コラム～コロナ禍における会議所～
38	周年実行委員会・職員紹介
38	あとがき

MESSAGE OF CON

お祝いメ



愛知県知事
大村 秀章

大府商工会議所が、創立20周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

大府商工会議所は、2002年(平成14年)4月に創立されて以来、中小・小規模事業者を対象とする経営改善普及事業などを通じ、地域経済の発展に大きく貢献してこられました。これもひとえに歴代の会頭、役職員並びに会員の皆様の御努力の賜であり、深く敬意を表する次第であります。

現在、大府市の南部、東浦町とまたがる「あいち健康の森」及びその周辺には、健康・医療・福祉に関わる施設が集積し、「ウェルネスバレー構想」による健康長寿の一大拠点の形成を目指すプロジェクトが進んでおります。

こうしたプロジェクトの推進には、地域経済社会の牽引役を担う商工会議所の果たす役割に大きな期待が寄せられているものと存じます。

大府商工会議所におかれましては、創立20周年を契機として、中小・小規模事業者と地域経済の発展に向けて、より一層御尽力いただきますようお願い申し上げます。

最後に、大府商工会議所の今後ますますの御発展及び会員の皆様の御健勝と御活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



大府市長
岡村 秀人

この度、大府商工会議所が創立20周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

また、鬼頭会頭をはじめ役員、議員、会員並びに事務局職員の皆様方には、日ごろから本市の産業振興はもとより、市政各般にわたりまして多大なる御支援と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

大府商工会議所におかれましては、平成14年度の創立以来、本市の飛躍的な発展に大きくご貢献いただいております。近年では、令和元年に「新商工業活性化ビジョン」を策定され、体系的に産業振興と地域の活性化に取り組んでいただいております。さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受ける商工業者を支援するため、機動的にプレミアム商品券事業を実施するとともに、新型コロナウイルスワクチン接種の職域接種の支援を行うなど、市内事業者にとって重要な役割を果たしていただき、深く敬意を表します。

今後も「健康都市おおふ」の発展を支えるパートナーとして、また、市内事業者にとって頼れる相談役として、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、創立20周年の節目を契機として、大府商工会議所の更なる御発展と会員の皆様方のますますの御活躍を心からお祈り申し上げます。

GRATULATIONS

ッセージ



日本商工会議所 会頭
三村 明夫

大府商工会議所が創立20周年を迎えられますことを、心よりお祝い申しあげます。

平成14年の創立以来、常に地域のリーダーとして、商工業の振興や地域経済社会の発展に大きく貢献されてこられました。これも偏に、歴代、そして現在の役員・議員・会員、青年部、女性会の皆様の弛まぬご尽力の賜物と存じ、深く敬意を表します。

さて、足元では、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、資源価格高騰に加え、ロシアのウクライナ侵攻や円安等が重なり、中小企業や地域経済に多大な影響が及んでいます。

しかしながら、これらの出来事により、日本を再構築し、強く豊かな日本を作り上げていかなければならないという危機意識が共有されました。世界全体が成長する中では、停滞は現状維持ではなく地盤沈下を意味します。今後は、企業も、商工会議所も、こうした大きな環境変化に対応し、自己変革に積極果敢に挑戦していかなければなりません。

大府商工会議所におかれましては、創立20周年を新たな出発点として、鬼頭会頭を中心により一層結束を深められ、積極的な活動の展開により、コロナ禍からの復興、そしてさらに豊かで活力ある地域が創造されますことを衷心よりご期待申しあげます。



愛知県商工会議所連合会 会長
山本 亜土

大府商工会議所が創立20周年を迎えられたことを、心よりお慶び申し上げます。

貴所は、平成14年に設立されて以来、基幹産業である製造業をはじめ、医療・福祉介護など「健康長寿」に関する施設が集積する地域の特徴・強みを活かして、企業支援、まちづくり、人材育成に取り組まれ、地域経済のリーダーとしての役割を果たしてこられました。

当地は、自動車を中心としたモノづくり産業が集積し、日本経済を牽引して参りましたが、直近では、自動車産業での「百年に一度の大変革」や、「カーボンニュートラル」実現への要請など、大きな転換期を迎えております。こうした中、地域経済の持続的な発展には、その礎である中小企業の皆様が、知恵と工夫を最大限に発揮し、チャレンジ精神を持って事業を展開して頂くことが不可欠です。

この記念すべき20周年の節目を契機として、会員企業の声をもより丁寧に聞きながら、企業・事業者の挑戦を後押しするとともに、地域の賑わい創出に向けて、従来にも増して活発な事業活動を展開されることを、心から期待しております。

結びに、大府商工会議所の益々のご発展、関係の皆さまのご健勝を祈念して、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

歴代正副会頭

第8期

2019.11～2022.10



会頭
鬼頭 佑治
協和工業(株)
代表取締役社長



副会頭
栗本 清次
イズミ工業(株)
代表取締役社長



副会頭
深谷 洋二
(株)ステーション・イン・大府
取締役会長



副会頭
花井 宏基
(株)花井組
代表取締役社長



副会頭
驚見 成起
愛協産業(株)
取締役社長



専務理事
下畑 昌史



監事
阿久澤 仁
オオブユニティ(株)
参与



監事
村瀬 泰弘
(株)松尾製作所
総務人事部渉外役



監事
竹内 成人
半田信用金庫大府支店
支店長



顧問
磯谷 智生



顧問
木村 勝昭
東海興業ホールディングス(株)
取締役名誉会長



参与
井上 雅



磯谷 智生



伊東 博巳



遠藤 司郎



木村 勝昭



浅井 輝
愛三工業(株)
総務人事部部長



成田 浩章
(株)愛知工務店
代表取締役



星河 年男
アルメック(株)
取締役相談役



伊藤 友子
税理士法人伊藤会計事務所
代表社員



大和田 宏之
大府造園土木(株)
代表取締役



加藤 久徳
(株)加藤建築事務所 大府事務所
専務取締役



門脇 昭三
門脇商店
代表者



新美 善民
(株)げんきの郷
代表取締役社長



成戸 繁之
(株)三恵シーアンドシー
代表取締役



山田 恵子
(株)サンタ
代表取締役



深谷 啓治
シンセイ建設(株)
取締役会長



望月 直人
(株)スギ薬局
行政連携推進課 課長



出口 弘親
スチールテック(株)
代表取締役



深谷 隆大
住友重機械工業(株)名古屋製造所
総務課 主事



野村 隆
千代田工業(株)
代表取締役会長



喜多 光範
デンソーテクノ(株)
総務部 部長



中村 有孝
東海興業(株)
取締役上席執行役員



西 保幸
(株)東海理機
代表取締役社長



水野 正士
(株)東海塗装工業所
代表取締役



佐藤 光彦
(株)東洋発酵
経営企画室理事



中岡 健太郎
(株)豊田自動織機 共和工場
安全・総務室 室長



中島 伸夫
中島特殊鋼(株)
代表取締役



西條 隆志
(株)名張製作所
常務執行役員



神谷 恵美子
(株)八神
取締役員

常議員

第1期 2002.4～2003.10	第2期 2003.11～2004.10	第3期 2004.11～2007.10	第4期 2007.11～2010.10	第5期 2010.11～2013.10	第6期 2013.11～2016.10	第7期 2016.11～2019.10
会頭 磯谷 智生 (株)豊田自動織機 相談役	会頭 磯谷 智生 (株)豊田自動織機 相談役	会頭 伊東 博巳 愛三工業(株) 取締役相談役	会頭 遠藤 司郎 (株)豊田自動織機 顧問	会頭 木村 勝昭 東海興業(株) 取締役会長	会頭 木村 勝昭 東海興業(株) 取締役会長	会頭 木村 勝昭 東海興業(株) 取締役会長
副会頭 関 格一 東海興業精機(株) 代表取締役社長	副会頭 伊東 博巳 愛三工業(株) 取締役相談役	副会頭 加藤 満 (株)みかと 代表取締役社長	副会頭 木村 信昭 東海興業(株) 専務取締役	副会頭 加藤 満 (株)みかと 代表取締役社長	副会頭 加藤 満 (株)みかと 代表取締役社長	副会頭 河野 博哉 イズミ工業(株) 代表取締役社長
副会頭 伊東 博巳 愛三工業(株) 取締役会長	副会頭 加藤 満 (株)みかと 代表取締役社長	副会頭 花井 廣海 (株)花井組 代表取締役社長	副会頭 森 美代数 愛協産業(株) 取締役社長	副会頭 鈴木 卓爾 愛協産業(株) 取締役社長	副会頭 半谷 眞宏 (株)半谷製作所 代表取締役会長	副会頭 鬼頭 佑治 協和工業(株) 代表取締役社長
副会頭 加藤 満 (株)みかと 代表取締役社長	副会頭 花井 廣海 (株)花井組 代表取締役社長	副会頭 伊村 晟 イズミ工業(株) 代表取締役社長	副会頭 加藤 満 (株)みかと 代表取締役社長	副会頭 半谷 眞宏 (株)半谷製作所 代表取締役会長	副会頭 河野 博哉 イズミ工業(株) 代表取締役社長	副会頭 深谷 洋二 (株)ステーション・イン・大府 取締役会長
専務理事 三島 繁樹	専務理事 廣江 安彦	専務理事 廣江 安彦	専務理事 阿部 親	専務理事 阿部 親	専務理事 井上 雅	専務理事 井上 雅
						副会頭 花井 宏基 (株)花井組 代表取締役社長

敬称略・順不同
2022.9.1現在

常議員



半谷 眞一郎
(株)半谷製作所
取締役社長



大嶋 久邦
(株)尾三焙材
代表取締役



日高 章
日多加産業(株)
代表取締役



古市 晃久
フリックイン福井(株)(アズイン大府)
専務取締役



加藤 大雅
(株)みかと
代表取締役社長



権藤 淳一
(株)三菱UFJ銀行
大府支店 刈谷支店 部長



永田 司
(有)三吉金属工業所
代表取締役



中本 和則
(株)矢田化学工業
代表取締役



笹田 栄治
(有)山本鋳金
代表取締役

1号議員

浅井 輝	愛三工業(株)	総務人事部部长
鈴木 耕治	アイサンコンピュータサービス(株)	取締役
江藤 進一	アクサ生命保険(株)	知多営業所長
長谷 秀俊	いずみサポート(株)名古屋支社	支社長
伊藤 友子	税理士法人伊藤会計事務所	代表社員
加古 丞二	大府修景建設(株)	代表取締役
大和田宏之	大府造園土木(株)	代表取締役
加藤 久徳	(株)加藤建築事務所 大府事務所	専務取締役
門脇 昭三	門脇商店	代表者
里山 剛史	希光建設(株)	代表取締役
内藤 政利	共栄不動産	代表者
富田 毅	(株)共和熱処理	代表取締役社長
山下 康二	(株)くるみ	代表取締役
小島 寛	(株)小島洋品店	代表取締役
坂口 美徳	公認会計士・税理士 坂口美穂事務所	代表者
成戸 繁之	(株)三恵シアンドシー	代表取締役
山田 恵子	(有)サンタ	代表取締役

樋口 智朗	(株)昭栄精機	代表取締役社長
望月 直人	(株)スギ薬局	行政連携推進課 課長
柿原誠太郎	寿司制烹なだか	料理長
出口 弘親	スチールテック(株)	代表取締役
深谷 隆大	住友重機械工業(株)名古屋製造所	総務課 主事
坂野 俊直	大東興産(株)(名南カントリークラブ)	代表取締役会長
小森谷尚久	大和機工(株)	代表取締役
山崎 宏文	タツミ化成(株)	代表取締役
喜多 光範	デンソーテクノ(株)	総務部 部長
中村 有孝	東海興業(株)	取締役上席執行役員
水野 正士	(株)東海塗装工業所	代表取締役
佐藤 光彦	(株)東洋発酵	経営企画室 室長
中岡健太郎	(株)豊田自動織機 共和工場	安全・総務室 室長
中島 伸夫	中島特殊鋼(株)	代表取締役
西條 隆志	(株)名張製作所	常務執行役員
坂 康臣	(株)ニホンディスプレイ	代表取締役社長
早川 達也	(株)早川建築	代表取締役

林田 秀治	(株)林田電気システム	取締役
半谷眞一郎	(株)半谷製作所	取締役社長
平下 学	平下塗装(株)	代表取締役
平岩 幹広	(株)プエオ	代表取締役
深見 貴英	(株)フカミ	役員
深谷 孝利	深谷設計室	代表者
木下 裕樹	福富金属(株)	代表取締役
田中 隆	(株)不二塚工業	代表取締役社長
古市 晃久	フリックイン福井(株)(アズイン大府)	専務取締役
松葉 正歩	(株)マツバエンジニアリング	代表取締役
加藤 大雅	(株)みかと	代表取締役社長
笹田 耕一	三力工業(株)	代表取締役社長
三苦 雅彦	(有)三苦業務店	代表取締役
岡部 篤男	桃山書道会	副代表者
中本 和則	(株)矢田化学工業	代表取締役
岡田 和宏	(株)吉田屋	常務取締役

2号議員

成田 浩章	(株)愛知工務店	代表取締役
中川 昌己	(株)愛知銀行 大府支店	支店長
近藤 健一	(株)あいりネン	代表取締役
相羽 英人	(株)相羽製作所	代表取締役
三品 富康	(株)浅井歯科技研	相談役
坂 保利勝	(株)アベックス	監査役
星河 年男	アルメック(株)	取締役相談役
植村 竜也	(有)植村モータース	代表取締役
伊藤健太郎	(株)大垣共立銀行 大府支店	支店長
川口 弘晃	(株)カフグチ	代表取締役
佐治 秀樹	(株)共和モータース	代表取締役社長
深谷 政次	協栄不動産	代表者

山口 芳弘	共和不動産	代表者
久野 耕嗣	久野耕嗣税理士事務所	代表者
新美 善民	(株)げんきの郷	代表取締役社長
杉浦 俊道	公認会計士税理士 杉浦俊道事務所	代表者
小池 吉孝	(株)十六銀行 リソラ大府出張所	出張所長
山田 敏二	(株)寝具の山田屋	取締役会長
深谷 啓治	シンセイ建設(株)	取締役会長
富田 虎夫	染と呉服とみたや	代表者
溝口 稔啓	知多信用金庫 大府支店	支店長
木村 祐之	(株)中京銀行 大府支店	支店長
野村 隆	千代田工業(株)	代表取締役会長
弓場 忠道	東海ホイスト工業(株)	代表取締役

西 保幸	(株)東海理機	代表取締役社長
猿田 治久	(株)名古屋銀行 大府支店	支店長
村上 喜久	西尾信用金庫 大府共和支店	支店長
神谷恵美子	(株)八神	取締役役員
大嶋 久邦	(株)尾三焙材	代表取締役
荒井 一郎	碧海信用金庫 大府支店	支店長
川口 満人	豊和住建(株)	代表取締役会長
永田 司	(有)三吉金属工業所	代表取締役
河合 和哉	(株)名南製作所	取締役
笹田 栄治	(株)山本鋳金	代表取締役
渡辺 淳一	(株)渡辺製作所	代表取締役

3号議員

大島 嘉夫	愛知精工(株)	管理部 部長
谷 昌洋	(株)アンセイ	管理部 部長
酒井 克人	岡崎信用金庫 大府支店	支店長
石黒 啓介	化成工業(株)	取締役
伊東 真志	KccPer技研(株)	総務部 次長

日高 章	日多加産業(株)	代表取締役
青本多嘉裕	大天工業(株)	代表取締役
森實 建介	(株)新居浜鐵工所	代表取締役
立木 正志	日本高圧電気(株)	グループマネージャー
深谷 光俊	(株)フカヤプレス	代表取締役

高羽 直樹	(株)富士プレス	代表取締役社長
川地 伸治	(有)物流センター	取締役
権藤 淳一	(株)三菱UFJ銀行 大府支店	刈谷支店 部長
吉田 正生	(株)吉田金型工業	代表取締役社長
石田恭一郎	(株)電製作所	代表取締役

組 織 図



大府商工会議所 設立記念式典



設立記念式典



テープカット



設立記念パーティー



開所式

大府商工会議所発足

前身である大府市商工会が41年間の歴史に幕を閉じ、新たに発足した大府商工会議所。そのスタートは平成14年4月1日。当日は大府商工会議所にて開所式が開催され、磯谷智生初代会頭が「外に向けて大府の良さを情報発信していくこと、内に向けては会員皆様方の社業発展に少しでも役立つこと、更に新事業創出と一緒にやっていくこと」と挨拶されました。また、同年5月30日、大府市勤労文化会館にて大府商工会議所設立記念式典と記念パーティーが行われ、第1回通常議員総会も開催されました。

大府商工会議所創立10周年

大府商工会議所は、名古屋の好景気、リーマンショックなど激動の時代を地域と共に歩んできました。その10周年を記念して、平成24年7月12日、大府商工会議所設立10周年記念式典と祝賀会を開催。各界から170名もの来賓が出席、商工会議所の役員・議員を含めた250名が大府市勤労文化会館に集いました。式典前には10年を振り返る映像を上映、木村勝昭会頭による式辞、功労者への感謝状・表彰状の贈呈及び授与などが行われました。式典後の祝賀会では、和やかな雰囲気の中、思い出話に花を咲かせました。



創立10周年記念式典



会頭経験者表彰



会頭挨拶



創立10周年祝賀会



パネル展示

平成25年度				平成24年度				平成23年度				平成22年度				平成21年度				平成20年度				平成19年度				平成18年度	平成17年度	平成16年度	平成15年度	平成14年度				年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
25年3月	26年3月	26年3月	26年3月	25年3月	24年12月	24年11月	24年10月	24年7月	24年6月	24年4月	23年2月	23年11月	23年7月	23年6月	23年5月	23年4月	22年2月	22年2月	22年2月	22年11月	22年10月	22年7月	22年5月	22年4月	21年2月	21年2月	21年9月	21年6月	21年6月	21年4月	21年3月	21年3月	20年3月	20年1月	19年12月	19年11月	19年10月	19年6月	18年11月	18年7月	18年2月	17年11月	17年4月	17年3月	16年11月	16年5月	15年11月	15年7月	14年12月	14年10月	14年4月	年月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
石ヶ瀬川ライトアップ夜桜実施（吉森支部）				第1回健康ふれあいフェスタinウェルネスバレー開催				観光ボランティアガイド「ふるさとガイドおおぶ」設立				持続可能な地域づくりを考えるシンポジウムinウェルネスバレー開催				観光ボランティアガイド養成研修開講				ウェルネスバレー推進会議設置				1-T推進会議設置				25年6月				25年8月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9月				25年9			

令和3年度		令和2年度		令和元年度／平成31年度		平成3	0年度	平成29年度		平成28年度	平成27年度		平成26年度		年度
4年3月	4年3月	4年3月	3年11月	3年11月	3年9月	3年10月	30年10月	29年4月	29年5月	28年4月	27年9月	27年9月	26年3月	26年4月	会議所イベント 年月
健康経営優良法人2022認定取得	「おおぶハナモモ花めぐり事業」デジタルスタンブラリーウォークラリー開催	「おおぶハナモモ花めぐり事業」ライトアップ事業開催	健康経営実態調査実施	健康経営優良法人2021認定取得	「あいち健康経営」知多ブロックコンソーシアム「大府にて開催	「おおぶハナモモ花めぐり事業」ライトアップ事業開催	「おおぶハナモモ花めぐり事業」ライトアップ事業開催	「おおぶハナモモ花めぐり事業」ライトアップ事業開催	「おおぶハナモモ花めぐり事業」ライトアップ事業開催	「おおぶハナモモ花めぐり事業」ライトアップ事業開催	「おおぶハナモモ花めぐり事業」ライトアップ事業開催	「おおぶハナモモ花めぐり事業」ライトアップ事業開催	「おおぶハナモモ花めぐり事業」ライトアップ事業開催	「おおぶハナモモ花めぐり事業」ライトアップ事業開催	
1,732		1,710		1,695		1,7	07	1,728		1,713	1,707		1,642		会員数





大府商工会議所創立20周年記念事業

おおふ桜ハナモモ花めぐり

2022.3.11～4.10



大府商工会議所創立20周年記念事業としてコロナ禍でも楽しめる花めぐりを企画。川沿いの桜が楽しめる石ヶ瀬川や鞍流瀬川、600mのハナモモ並木が美しいあいち健康の森公園のハナモモロードをめぐるウォークラリーやライトアップが楽しめました。また、大府市内のスポットを巡り、スマホでスタンプを集めるデジタルスタンプラリーも同時期に開催しました。



2002～



大府市産業文化まつり

昭和45年の市制施行と同時にスタートした大府の秋の一大イベントです。商工会時代から参加する大府商工会議所は、市民の皆様へ地域の産業の理解を深めていただくとともに、様々なイベントや即売会などを企画してきました。会員の皆様の多大なるご協力の下、会議所一丸となってまつりを盛り立てます。



親子工作



大府の魅力発見クイズラリー



みたらしだんご・五平餅販売



うなぎのつかみどり



わた菓子



OBUバーガー

2011～



第4回ウェルネスバレーフェスタ・シンポジウム

(2015)



第1回健康ふれあいフェスタ in ウェルネスバレー

(2014)



(2015)



(2014)



第3回ウェルネスバレーフェスタ～健康逸品・花と光の祭典～

(2015)



ウェルネス開発研究会

(2012)



持続可能な地域づくりを考えるシンポジウム in ウェルネスバレー

(2014)



第2回ウェルネスバレーフェスタ

(2014)



第5回ウェルネスバレーフェスタ

(2016)



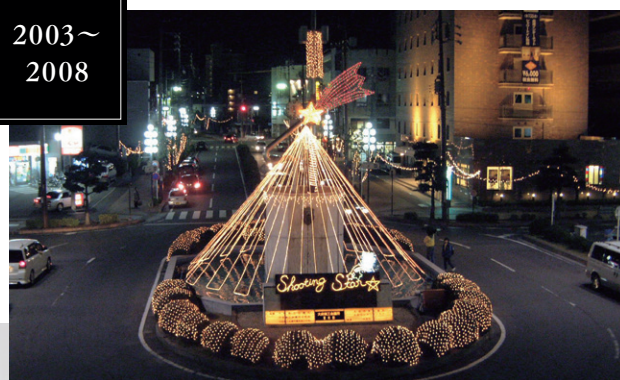
(2016)

ウェルネスバレー推進事業

大府市と東浦町は、健康・医療・福祉・介護施設が集積しているあい健康の森とその周辺を「ウェルネスバレー」と称し、この地区において健康長寿の一大拠点の形成を目指す「ウェルネスバレー構想」を掲げました。推進協議会やシンポジウムにより、ビジョンや取り組むべき課題を洗い出し、従来の産業の枠にとらわれない連携を模索。ウェルネスバレーフェスタでは、市民参加で「学ぶ」「体験する」「築く」をテーマに様々な催しを開催しました。

平成23年11月	ウェルネスバレー推進協議会設立記念フォーラム
平成24年6月	ウェルネス開発研究会
平成25年8月	ウェルネスバレー推進会議開設
平成25年11月	持続可能な地域づくりを考えるシンポジウムinウェルネスバレー
平成26年3月	第1回 健康ふれあいフェスタinウェルネスバレー
平成26年9月	第2回 ウェルネスバレーフェスタ
平成27年3月	第3回 ウェルネスバレーフェスタ～健康逸品・花と光の祭典～
平成27年9月	第4回 ウェルネスバレーフェスタシンポジウム
平成28年9月	第5回 ウェルネスバレーフェスタ

2003～
2008



イルミネーション事業 (青年部)

駅前環境が変化する中、「市民の憩いの場の提供」と「駅周辺の賑わい創出」による地域活性化になればと青年部が企画しました。平成17年度から会場を大府市役所前に移して開催。大府市制35周年を記念し、市役所前と商工会館をイルミネーションで彩りました。

2008～
2010



緑のカーテン事業 (青年部)

大府商工会議所青年部は、身近な環境対策として「みんなで広げよう緑のカーテン」事業を展開。6月初旬、大府市役所市民健康広場にて式典・種苗会を行いゴーヤ、ヘチマ、アサガオの苗を市民や100社もの会員事業所、市内保育園、小中学校等に無料配布しました。

2009、2010
2012、2015
2020～2022



(2012)



(2009)



(2015)



(2020)



(2021)

商品券発行事業

大府商工会議所10周年記念事業として行った「大府プレミアム商品券」。1冊11,000円分の商品券を10,000円で販売しました。市内消費を喚起し、地域商工業の活性化を図るこの取り組みは、多くの事業所の協力を得て、地域の皆様大変ご好評いただきました。その後も平成27年にはプレミアム率20%の「大府プレミアム付商品券」を販売するなど、地域活性化を担っています。

平成21年6月	大府活性化商品券発行
平成21年9月	大府エコ商品券発行
平成22年7月	大府エコ商品券Wプレミアム事業実施
平成24年11月	大府プレミアム商品券発行
平成27年10月	大府プレミアム付商品券発行
令和2年9月	おおぶ元気商品券協賛事業
令和3年11月	プレミアム商品券「おおぶちゃん商品券」発行
令和4年9月	プレミアム商品券「おおぶちゃん商品券」発行 (20周年記念事業)

2007～
2017



インドネシア

(2013)



ベトナム

(2014)



インド

(2015)



フィリピン

(2016)



マレーシア

(2017)

海外経済産業視察研修

平成20年のリーマンショック以来見送っていた海外視察研修を平成24年に再開。年1回ペースで20名程の視察団を結成し、経済・産業視察に赴きました。訪れた国はタイ・ミャンマー、インドネシア、ベトナム、インド、フィリピン、マレーシアなど様々。国ごとに経済発展状況や課題が異なる中、多くの情報交換がなされる有意義な視察を行いました。

平成19年11月	タイ
平成20年11月	台湾
平成24年12月	ミャンマー・タイ
平成25年12月	インドネシア
平成26年11月	ベトナム
平成27年11月	インド
平成28年11月	フィリピン
平成29年11月	マレーシア

2010～



おおぶ社会人学舎



滝谷経営塾



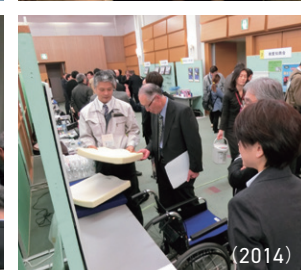
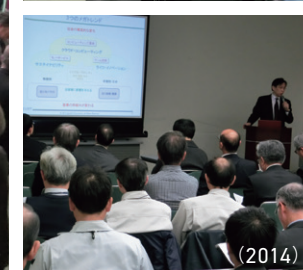
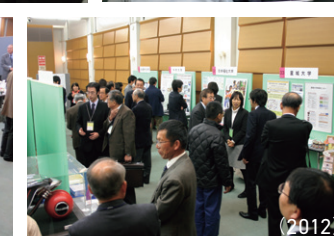
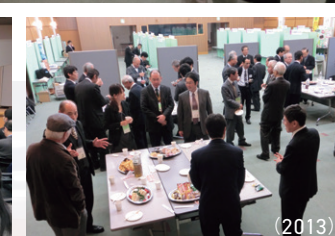
大府ビジネスカレッジ

受講者の声
社会人学舎は、錚々たる講師の方々から学ばせて頂くだけでなく、仕事、会社は違えど、同じように前向きに励まれている方に出会うことができる貴重な機会でした。また、商工会議所の方々が会員企業を發展させたいと熱心に取組んでいらっしゃることも直に感じることができました。

おおぶ社会人学舎 滝谷経営塾 大府ビジネスカレッジ

平成22年より、「商工業活性化ビジョン」の主要テーマ「人づくり」の一環として始まった「おおぶ社会人学舎」。後継者および中核人材育成のための実践的な学びの場として好評を博してきました。その後、滝谷国際経営事務所の滝谷敬一郎氏を講師に招いた「滝谷経営塾」(平成27年～29年)、「大府ビジネスカレッジ」(平成30年～)と名前を変えながら、時代に即した課題や視点で明日の人材を育成しています。

2007～
2016



産学官連携交流会

大府市との共催で平成19年より始まった交流会は、毎年テーマを変えながら、地域事業者の産学官連携の取組を促進し、新事業等への足掛かりになるよう開催してきました。参加者は回を重ねるごとに増え、最終回となった第10回にはブース出展52団体、来場者は過去最高の250名となりました。基調講演ではタイムリーな話題が多く取り上げられ、ブース交流会では大学や官のシーズや支援策等の紹介、大手事業者の生産性向上の取組、開発型事業者の技術や製品の説明がなされ、多くの交流が生まれました。

- | | |
|------|----------|
| 第1回 | 平成19年12月 |
| 第2回 | 平成20年12月 |
| 第3回 | 平成21年11月 |
| 第4回 | 平成22年12月 |
| 第5回 | 平成23年11月 |
| 第6回 | 平成24年11月 |
| 第7回 | 平成25年12月 |
| 第8回 | 平成26年12月 |
| 第9回 | 平成27年11月 |
| 第10回 | 平成28年11月 |

2007～



おおぶふれあいゼミナール

平成19年より始まった「おおぶふれあいゼミナール」は、「夏講座」と「秋・冬講座」を開講。各々の店主がプロの技を教えます。「食べる」「つくる」「健康」「学ぶ」「きれい」などジャンルに分かれ、募集後すぐに定員に達するものも多い人気のゼミナールです。親子連れを中心に市民の楽しみとして、またお店のファンを増やす場として根付いています。

商業部会



店主の声
「消費者と直接ふれあうことで、仕事への刺激になった」
「新しいお客様ができて来店者数が増えた」
「知名度がアップした」
お客様の声
「細かいところやコツがわかった」
「地域の商業を知ることができた。他店もどんどんやってほしい」
「子どもたちの学びと体験の場として、毎回楽しみにしています」

2006～



商業部会



参加事業者の声
当店としても、大府の米を使用した地酒「大府の絆」を作り出すキッカケにもなりました。参加者の皆さんはとても前向きな方ばかりですので、メンバー間では互いに良い刺激になったと思います。

一店逸品運動

平成18年のスタート以降、集客効果とまちの活気を生み出している「一店逸品運動」。大府市内の各商店が、毎年テーマや課題に取り組み、商店同士が率直な意見を出し合い、よりすぐりの逸品を生み出します。また、逸品を集めた冊子制作やイオンモールでの展示会開催、「お店めぐり」の開催など、様々な形でPRを展開しています。

2008～



ものづくり塾／橋本実践塾

平成20年より開講した「ものづくり塾」は「橋本実践塾」と名前を変え、令和4年度で15期目に入ります。次世代を担う若手経営者、後継者、幹部候補の育成を目的に、実践型の改善活動を展開。橋本塾長が塾生の勤務先に赴き、受講生と共に2S（整理・整頓）をベースに現場の問題点を洗い出し、改善に取り組みます。作業効率や安全性向上を図る実践的なカリキュラムが現場力を高めます。

製造業部会



参加事業者の声
「整理」、「整頓」、簡単なようで奥が深い。橋本実践塾での改善活動を通じて、工場内のものを探したり、移動させたりする無駄な時間が削減でき、生産性の向上や意識改革など、経営上のメリットを得ることができました。今後も2Sの維持・改善を継続しながら、会社を進化・発展させ続けたいです。

2002～



セミナー・講演会・視察研修

事業経営に必要なスキルを身に付けるため、専門家を招いての講演会や実践的なセミナー、視察研修会を企画。事業者の要望を取り入れつつ、時流に合わせた内容で様々な分野の学びを深めます。すぐに役立つノウハウから、経営マインドを刺激する講演まで、内容は多岐に渡ります。

情報・物流・サービス業部会



他にも様々な事業を行いました

商業部会



建設業部会



製造業部会



情報・物流・サービス業部会



利用者の声
商工会議所の相談に行ってきた。仕事内容、できれば、コスト、説明、対応態度、いずれも申し分ない親切さが見られ、とても感動に値するものでした。

住宅修繕相談

市民からの住宅修繕に関する相談を受ける無料コーナー。(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター増改築相談員の資格を有する地元建設業者が相談に乗ります。大府市在住者、市内事業所等(店舗・事務所・工場など)の増改築等の相談にも対応。令和3年度は相談回数22回、相談件数79件となっています。

建設業部会



清掃活動

毎年12月上旬、環境保全推進のため行っている清掃活動。大府市役所周辺及びJR大府駅周辺の幹線道路沿いや、市道大府共和線(共和夢通り)及びJR共和駅周辺など場所を変えながら、タバコの吸い殻や街路樹に埋もれた空き缶を拾います。時に地域住民の方々と連携しながら、「持続可能なまちづくり」を目指します。

大府支部

刈谷



(2018)

知立



(2017)



知立

(2017)



半田

(2019)

まちづくり先進地視察研修

市内中心部に位置する大府支部はまちづくりに力を入れており、積極的に他の市町を視察。知立市、刈谷市、半田市など駅前を中心にまちづくりのプロセスや課題などを視察しています。



(2019)

豊川講

新年恒例の豊川講は令和4年で15回を迎えました。商売繁盛と家内安全を祈願し、ご祈禱を受けた後、精進料理をいただくのが慣例。他にも岩津天満宮、真福寺、砥鹿神社などを参拝します。



(2018)

おおぶの街の再発見
ウォーキングイベント



(2019)

ボウリング大会

共長支部



(2014)



(2012)

セミナー・講演会

趣向を凝らした人選で人気のセミナーや講演会。講師は接客のプロや、かつて、漫才師の故横山やすし氏のマネージャーを務めた大谷氏など、貴重かつ実践的な学びの時間になっています。



(2018)



(2018)

ボウリング大会

支部内の親睦を深めるべく開催するボウリング大会は、60名ほどの老若男女が熱戦を繰り広げます。狙うは豪華賞品やストライク。和気あいあいと楽しいひと時を過ごします。

横北支部



(2015)



(2016)



(2015)

月見の会

支部内事業所の社員、家族、支部役員、来賓などが焼肉、焼きそばなどを食べながら月を愛でる秋の恒例行事。参加者は東南アジア系の外国の方も多く、有意義な国際親善の場にもなっています。



(2016)



(2018)



(2018)

初詣寺社巡り

毎年1月に行う寺社巡りは横根・北崎地区の藤井神社、北尾御嶽山神社、北尾新田神社、北崎神明社、山之神社、極楽寺、普門寺を徒歩で巡り、藤井神社にてお団子やおでんなどを堪能します。

吉森支部



(2018)



(2017)

石ヶ瀬川ライトアップ夜桜

大府の新名所づくりや、市民交流のある住みよいまちづくりのために行われる春の風物詩。点灯セレモニーやミニコンサートなど多くの人出で賑わい、吊り提灯や木製ぼんぼりが華を添えます。



(2016)



(2018)

視察研修

毎年11月頃、参加者同士の親睦を深めるべく行われる視察研修。三重県伊賀市の赤目温泉、岐阜県の飛騨高山、奈良県の橿原神宮など様々な名所旧跡を巡ります。

2014～
2016



(2015)



(2015)



(2015)



(2013)



(2013)



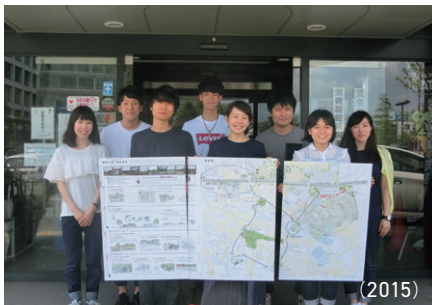
(2014)



(2014)



(2013)



(2015)



(2013)

地域開発委員会 まちづくり構想提言

健康都市おおぶの理念をまちづくりとして展開するために、新しい都市ビジョンを策定し、官民学が一体となって取り組むべく活動してきた地域開発委員会。精力的に議論を重ね、様々なアプローチで構想をまとめ、平成28年には大府市に提言。その後もさらなる審議を重ねています。活動は多岐に渡り、市議会議員のまちづくり特別委員会との懇談会や、全国各地の先進地への視察研修・勉強会をはじめ、工学院大学の学生を巻き込んだ実地調査や立体模型作りも行いました。

平成26年4月 大府市議会議員(まちづくり特別委員会)との懇談会
まちづくりにかかる先進地視察研修・勉強会
平成26年8月 柏の葉アーバンデザインセンター(DCCX)【千葉県柏市】
平成26年8月 柏商工会議所【千葉県柏市】
平成26年12月 株式会社生活の木(本社)【東京都渋谷区】
平成26年12月 メディカルハーブガーデン生活の木 薬香草園【埼玉県飯能市】
平成27年10月 株式会社まちづくり勝川【愛知県春日井市】
工学院大学(東京都) 遠藤新研究所との実地調査・構想提案発表
平成27年7月・平成28年6・7月 大府市のまちづくりの検討
平成28年9月 「大府市まちづくり構想」を大府市に提言



(2020)

新年賀詞交歓会

2003～2020・2022

毎年恒例の新年行事。会員はじめ来賓、関係者など多くの方々が大府市役所多目的ホールにて、新年のあいさつを交わします。



(2020)

創業塾

2002～

中小企業診断士を講師に迎え、これから創業を考えている方などを対象に開業時に必要な基礎知識について学びます。



(2019)

役員・議員視察研修

2002～

正副会頭をはじめとする役員・議員、行政での視察研修では、各地の産業や歴史、文化について理解を深めます。



(2015)

会員交流会

2015～

新たに商工会議所に入会した事業者が互いの交流を深め、事業展開の一助にと2015年から開催しています。



(2017)

ハナモモの木記念植樹際

2014～2017

「1,000本のハナモモの木を植え、大府・東浦に桃源郷をつくろう」をスローガンにあいち健康の森に多くの苗木が植えられました。



(2018)

ふれあいコンサート

2018・2019

初の文化事業として、会員企業の協賛により開催。素晴らしい独唱に、約300名の来場者は酔いしれました。

会頭杯ゴルフコンペ

OBUCCI PRESIDENT CUP



(2020)



(2017)



(2017)



(2017)



(2015)

開催年月	優勝	準優勝	3位
第1回 2002.12	伊藤 梅和	花井 廣海	岡瀬 文良
第2回 2003.9	竹内 道春	青山 佐一	吉田 正弘
第3回 2004.3	花井 廣海	松岡 茂美	加古 丞二
第4回 2004.9	竹内 道春	山口 善徳	服部 伊佐雄
第5回 2005.3	竹内 道春	加藤 博己	中川 真
第6回 2005.10	加古 雅雄	阿久澤 仁	松岡 茂美
第7回 2006.3	蟹江 雅直	浅田 利明	澤田 稔
第8回 2006.9	吉田 正弘	竹内 道春	金森 明世史
第9回 2007.3	山口 隆弘	山中 皓宏	花井 廣海
第10回 2007.9	井上 善博	中山 謙也	加藤 久徳
第11回 2008.3	加古 丞二	山口 隆弘	浅田 利明
第12回 2008.10	吉田 正弘	平下 清次	金森 明世史

開催年月	優勝	準優勝	3位
第13回 2009.3	稲垣 浩司	中川 亜美	花井 宏基
第14回 2009.9	鷹羽 文男	澤田 稔	木村 信昭
第15回 2010.3	吉田 正弘	阿久澤 仁	加田 博
第16回 2010.9	古道 静雄	松原 大虎	石田 光義
第17回 2011.9	吉田 正弘	近藤 健一	松井 孝恵
第18回 2012.3	吉田 喜久造	中川 真	澤田 稔
第19回 2012.9	加古 丞二	松岡 茂美	村松 昭
第20回 2013.3	後藤 啓介	石田 光義	浅田 利明
第21回 2013.9	近藤 健一	澤田 稔	竹内 道春
第22回 2014.3	久野 春雄	山田 恵子	近藤 健一
第23回 2014.9	河野 博哉	近藤 健一	平下 学
第24回 2015.3	伊藤 頼一	松原 大虎	竹内 道春

開催年月	優勝	準優勝	3位
第25回 2015.9	近藤 健一	花井 宏基	井上 雅
第26回 2016.3	花井 宏基	河野 博哉	近藤 健一
第27回 2016.9	不破 昇	山田 良彦	片桐 好書
第28回 2017.3	平下 学	吉田 正弘	白井 久士
第29回 2017.9	久野 春雄	吉田 正弘	蟹江 雅直
第30回 2018.3	加藤 久徳	服部 尊好	木村 勝昭
第31回 2018.9	山下 和芳	永田 司	竹内 道春
第32回 2019.3	加古 丞二	白井 久	吉田 正弘
第33回 2019.9	河野 博哉	久野 春雄	花井 宏基
第34回 2020.3	吉田 正弘	花井 宏基	下田 清美
第35回 2021.3	佐治 秀樹	永田 司	吉田 正弘
第36回 2022.3	花井 宏基	竹内 道春	伊藤 直樹



地元を元気に！地域活性化事業



自社や地域のリーダーを目指し、自己研鑽！



仲間や先輩と、絆を深める！



大府商工会議所 青年部

大府商工会議所青年部(大府 YEG)は、45歳以下の若き経営者が集まった起業家集団。「地域を盛り上げ、自分を磨き、一生の仲間やつながりを育む」を目標に、様々な活動を行っています。YEG=Young Entrepreneurs Group(若き起業家集団)の名のもとに、精力的に大府を盛り上げます。

歴代会長



地域文化交流事業



会員総会・全国交流事業



健康づくり事業／会員交流事業



視察研修事業



大府商工会議所 女性会

大府商工会議所女性会の活動指針は「リーダーとして、凛と信をもって連帯し、平和で心豊かな社会を築きましょう。」「凛」とは情熱、勇気をもって行動し、社業の発展につとめ地域社会に貢献すること。また、「信」とは礼節・勤勉を尊び、美しい自然や良き伝統・文化を愛し、次の世代に継承することです。この理念を胸に、日々バワフルにしなやかに活動しています。

歴代会長



Special Interview

鷺見 成起 副会頭
愛協産業株式会社
取締役社長

花井 宏基 副会頭
株式会社花井組
代表取締役社長

深谷 洋二 副会頭
有限会社ステーション・イン・大府
取締役会長

鬼頭 佑治 会頭
協和工業株式会社
代表取締役社長

栗本 清次 副会頭
イヅミ工業株式会社
代表取締役社長

大府の未来 ～持続的発展を目指して～

下畑専務理事（以下、下畑） 本日はお集まりいただきまして、ありがとうございます。下畑が司会進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いします。一同 よろしくをお願いします。

下畑 今回の座談会は「大府の未来～持続的発展を目指して～」をテーマに掲げております。目まぐるしく状況が変わる今の時代に、私たちはどのように未来を切り拓いていくべきか。大府商工会議所が掲げる「ものづくり」「ひとづくり」「まちづくり」の3つの軸をもとに、お話いただければと思っております。

鬼頭会頭（以下、鬼頭） こうして皆さんとお話しする機会は貴重ですので、楽しみです。

下畑 それでは早速ではありますが、「ものづくり」については鬼頭会頭と栗

本副会頭、「ひとづくり」は鬼頭会頭と鷺見副会頭、「まちづくり」は深谷副会頭と花井副会頭を中心にお話しいただければと思います。皆様、どうぞよろしくお願い致します。

ものづくり Merchandise

鬼頭 大府市は主に自動車産業の集積地となっています。自動車業界は今、電気自動車（EV）や自動運転車、コネクテッドカーといった技術革新が進み、「百年に一度の大変革」を迎えています。

栗本副会頭（以下、栗本） 2015年秋に発覚した、ヨーロッパの排ガス不正問題が一つの転換点でしたよね。この問題をきっかけに、排ガス量に注目が集まり、EVへと急転換しました。

鬼頭 ヨーロッパでは2035年までにディーゼル車・ガソリン車の販売禁止を決定しており、各国がその目標年を発表しています。日本では、遅くとも2030年代半ばまでに乗用車・新車販売で電動車100%を実現するという発表がされています。この大変革に対応できなければ、振り落とされる企業が続出します。生き残るためには、自社の強みをどう活かしていくかを考えていかないとはいけません。

栗本 同感です。私の会社はエンジン駆動に関わる部品が売上の75%を占めているのですが、これらはEV化したらすべて必要のない部品なんです。今、確実にEV化は進んでいますが、一方でインフラ面が整っていない新興国でも果たして目標通りにEV化が進むのか、という疑問もはらんでいます。ですので、ま



鬼頭会頭

ずは焦らずに経営者として何をすべきか、あらゆる選択肢を広げて考えないといけません。自社では工作機械も製造していますので、そこで使っている圧接技術をEVのモーターなどに活用できないかと現在模索しています。

鬼頭 ゼロから新規事業を立ち上げるのには、莫大な開発資金と時間が必要ですね。まずは自分たちの強みを軸に、新たな可能性を探ることが大切だと思います。そして、社内に対応できないことには、異業種と連携することで次の一歩を踏み出せるのではと思います。

栗本 コラボレーションは今後ますます必要ですね。

鬼頭 そうですね。私の会社では「戦略的原価システム」という新しい原価の仕組みを作りました。今でいうところのDX化を3年以上前から推し進めていまして、構想は20年以上にわたります。

下畑 「戦略的原価システム」とはどういったものでしょうか？

鬼頭 原価はもともと会計処理をするためのものですが、私が欲していたのは“現在”の情報です。現在を知って、未来を予測したい。そういった仕組みを作りたいといろいろなIT業者に持ち掛けたのですが、できないと門前払いでした。そんな時に、異業種交流会であるIT業者と出会いました。もともと食品原価



栗本副会頭

のシステムを開発されていた会社で、製造業では使ってこなかった方法をお持ちだったんです。それが今のシステム構築の実現に繋がったんです。もはや業界の常識だけでやってはいけな

栗本 その日、その時間ですぐ変化が分かれれば、早く手が打てるので、素晴らしいシステムですね。今後ですが、価格はもちろんのこと、カーボンニュートラルも重視される時代になります。CO2の削減のためには、まずものづくりの原点に立ち返り、無駄を省き、漏れを無くし、不良を減らすことが最も近道ではないですかね。

鬼頭 いかに工程を少なくするかも考えたいですね。材料から見直して、材料メーカーと話すことも必要だと思います。

栗本 背伸びをせず、日常改善を見直し、自社の強みを光らせること。これが未来を拓く道になると信じています。

ひとづくり Person

下畑 会社の発展と成長には人の成長が欠かせないと思います。鬼頭会頭は「あ4会合（あふぉーかいごう）」というものを実行されているんですよね？

鬼頭 はい。これは、月に1回私が全部署を回る取り組みのことで。部署ごとの課題を見つけ、解決方法のアドバイスをしたり、新しいシステムを導入した際に各部署に合わせた説明をして定着させたりするために始めました。「あ4（あふぉー）」とは、私が人材育成で自分への戒めとしている「あせるな、あきらめるな、あてにするな、あなどるな」の頭文字から取っています。人を育てるのはなかなか難しいです。ゆっくり時間をかけて社員とじっくり向き合う姿勢を忘れないようにしています。

鷺見副会頭（以下、鷺見） トップの立場の人ほど社員の目線に立ち、一対一で向き合って会話をすることは大切ですよ。

鬼頭 そうですね。当初は、「社長が来た」とみんな身構えていましたが、時間をかけてコミュニケーションを取ってい

くと次第に心を開いて悩みや困り事、最近の出来事などいろいろな話をしてくれるようになりました。部署ごとに抱えている課題は違いますので、それぞれに合った解決法があります。また、個人の實力や考えも分かるようになり、人材発掘の機会にもなっています。また、以前と比較して職場の現状把握もはっきりできるようになりましたね。

鷺見 現場の生の声を聞くと早期に課題やトラブルが見つかり、火種が小さいうちに手が打てますよね。私も社員への声かけは意識して行うようにしています。人は誰かに認めてもらう・褒めてもらうことで成長します。そのために、社員と相対して「来年はこれができるようになろう」と一緒に目標を定め、「あなたにはこんな期待をしている」と期待をしっかりと示すようにしています。こうして人が育つことでチームが強くなり、最終的に会社全体も成長していきます。



鷺見副会頭

深谷副会頭（以下、深谷） 私はビジネスホテルの運営をしています。パートの従業員さんがほとんどです。彼女たちに気持ちよく働いてもらうためには、何よりも普段のコミュニケーションが重要です。イレギュラーなことが起こったとしても、日頃からしっかり信頼関係を築いておけば「任せておいて！」と快く動いてくれます。経営者と従業員の信頼関係が深いほど業務はスムーズに進みますね。今も、73歳のベテランのパートさんを主任にしていますが、みんな彼女の指示できちんと動いてくれます。

鷺見 主任になった方も時給が上がると、働くモチベーションにもなりますよね。他のパートさんも「あの人は自分たちよりも責任があるから仕方ない」と納



得るので指示されても不満になりません。従業員同士がリスペクトし合える人間関係の構築も重要だと思います。

深谷 みんなが不満なく働きやすい環境を整えることで、生産性も向上しますよね。働き方改革にも繋がってくると思います。

驚見 働き方改革は会社として必須の取り組みです。しかし、ただ単に「みんな残業せずに早く帰ろう」と声を掛けたところで、何の改革にもなりません。管理者が一人ひとりの業務を理解・把握して、個人の声を聞いて環境を変えてあげないといけません。常に会社全体と個人の状況を見て、バランスよく仕事を振り分け、全員が気持ちよく仕事ができるように調整することがトップのやるべき役割だと思います。

下畑 健康経営に関してはどんな取り組みをされていますか？

驚見 私の会社では、職場でチームを組んで万歩計を持って歩数を競うイベントを行っています。みんな楽しんで参加してくれていますよ。他には、大府市の保健師を招いて出張講座を開いています。

鬼頭 人は宝です。社員の健康を守ることも経営者としての責務ではないでしょうか。

「まちづくり Town」

下畑 では、最後に「まちづくり」についてお願いします。

深谷 私は大府市に45年住んでいますが、かつての駅前には本屋や立ち食い蕎麦屋、ショッピングセンターなどがあってとても賑わっていました。他の街に住んでいる友人にも「大府駅の周りはいろいろあって良いね」と言われたものです。市街地が盛り上がると、市の全体にどんどん勢いが出ます。駅前にかつてのような人の賑わいを取り戻したいと、青年部と力を合わせて様々なイベントを開催しています。

下畑 夏祭りや星空横丁、マルシェなどですね。毎年多くの方で賑わいます。最近では駅近にキッチンカーやめしクルーといった新たな動きもあります。

深谷 地元の人が交流して輪を少しずつでも広げていくことは、街の活性化になると思っています。商店主同士の人脈ができ、例えば一緒にイベントをしたり、コラボ商品を作ったりと共に協力して盛り上げてくれることを期待しています。ただ、私たちのような年代ばかりが頑張ってもいけない。これからのまちづくりを担っていく若い世代をどう巻き込んで、どんな新しい展開をしていくかが課題だと感じています。



深谷副会頭

花井副会頭（以下、花井） 深谷さんが仰るスポット的な賑わい創出はもちろん必要ですが、私は持続可能なまちづくりをしていかなければと考えています。私は建設業に携わっているのですが、よく自分を町医者に例えます。人間の体は血管が詰まると病気になるように、道路が詰まると街は破綻してしまいます。医者が投薬や手術をして体の治療を行うように、私たち建設業も定期的な工事で街を整備し、アップデートすることが必要です。しかし、今の大府市を見ていると、手を加えないといけない場所が多く、このままでは街がどんどん衰えて病気になってしまう…と自分の体がチクチクしてくるんです。

下畑 昨今、大雨などの自然災害も増えていますね。

花井 職業柄、「この場所で災害が起きたら、どんな被害が起きるか」「このエリアは危険だ」というのが分かるんです。現状の大府市は残念ながら災害への対応が万全にできているとは言いきれません。それでは、周辺の市町との地域間競争にも負けてしまい、人がどんどん離れていってしまいます。

下畑 どのような取り組みが必要でしょうか？

花井 公共工事はすべてその時の行政の判断で決まります。ですので、行政、民間、会議所が三位一体となり、10年後、20年後と先を見据えた中長期的な視点でこの街について考えていかなければいけません。



花井副会頭

深谷 今の問題点を解決するための取り組みだけではなく、先を見据えた改革もしていくべきですね。数年後にリニアが開通すれば、名古屋-東京間は40分で行き来できるようになり、選ばれる街と衰退していく街の二極化が進むのではないでしょう。

花井 大府市で渋滞している間に40分なんてあつという間に過ぎてしまいます。この街に住み続けたいと思ってもら

い、子どもたちが将来設計を描けるようなまちづくりをしなければいけないと危機感を持っています。質の高い生活ができる街に働き手が集まり、働きやすい会社で働く。そして、大府市の経済を支える製造業の業績も税収も上がる。ものづくり、ひとづくり、まちづくりはすべて繋がっています。これらが循環していくことで、大府市は持続的な発展ができると思います。

下畑 皆さん、素晴らしいお話をありがとうございました。

栗本 それぞれの視点で、大府市を良くしていきたいという思いが、良く伝わりました。

花井 私も他の皆さんのお話を聞いて、深く感動しました。皆さん一流の経営者の方ばかりですので、経済の実態を実に良く把握されていますね。

驚見 私たちが中心になって行政や議会などの関係機関と連携を図っていきたいですね。

深谷 そして、住み続けたいと思ってもらえる街にしたいです。

鬼頭 大府の街を持続的に発展させていくために、この先も尽力していきます。ぜひ会員の皆様にも一層のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。



下畑専務理事

大府の地域経済の持続的発展へ

ものづくり
Merchandise

ひとづくり
Person

まちづくり
Town

- 自社の強みを見つけて伸ばし、新たな可能性を探る
- 他社との積極的なコラボレーション
- 日常の改善点を見つけて無駄を省き、CO2を削減

- 社員の目線にたつてコミュニケーションを図る
- 一人ひとりに目標を設定し、期待を示す
- トップが個人の業務を把握し、バランスよく仕事を振り分ける

- 若い世代を巻き込んだ賑わい創出への取り組み
- 中長期的な視点に立ったまちづくりの構想
- 行政・民間・商工会議所が三位一体となった連携



大府商工会議所
会報誌のあゆみ
2002.4-2022.3
vol.1-240



特集記事に出ていただいた皆様

大府商工会議所運営の大府市の
タウンポータルサイト「まっちふる大府」。
人と店、企業と企業のつながりをふやす
地域マッチングサービスです。



ハナモモに魅せられた、
「大府の花咲かじいさん」

桜井指圧治療院 桜井 義道さん
(知多半島はなももの会会長)



手渡すのはバルーンと笑顔。
それが私のクラウン流儀！

クラウン チョク 松下 直美さん
(共和病院 副院長/看護部長)



自由なアメリカの風を、
ハンバーガーと共に。

馬場 憲之さん
(株式会社 ブルーチップ 代表取締役)



地域にも、仲間にも！
広がり続ける“笑みの輪”。

大府市内店主グループの皆さん
(えみのわ)



磨き抜かれた技と想いで挑む、
熱きスノーボーダー！

浅田 順さん
(庭jun)



日本、そして世界へ向けて、
大府発の「スシーン」を！

梶川 歓龍さん
(株式会社 梶川工作所)



情熱と効率化で挑む、
大府のちょいワルファーマー！

山口 貴也さん
(キャロットファーム)



スピードの先に見出す、
勝利と親子のカタチ。

相田 洋さん、一樹さん、蓮さん
(スターインターナショナル)



子どもたちの可能性のために。
僕らができること。

山田 大空さん
(ダンスとアートのNPO法人TRILL 代表理事)



金メダル級の元気と
笑顔輝く「共和の弁財天」！

服部 啓子さん
(ふじや酒店)



一人ひとりにピントを合わせた、
楽しいメガネを。

中村 響さん
(GLASS JOY 02(グラスジョイオオブ))



団結力と向上心でアジアを
駆け抜ける自転車チーム！

別府 匠さん
(愛三工業レーシングチーム)



“奥が深い”、だから
熱処理は“やりがい”がある。

富田 毅さん
(株式会社 共和熱処理 専務取締役)



大府に、ハンドメイドの
風を吹き込んで。

otakamama(オタカママ)さん
(ハンドメイド作家・ショップ経営)



ニャンとも楽しい！
イラストレーターの日々。

安部 可南子さん
(Hand made shop ひこ屋 代表)



すべての子どもたちに、
スポーツの楽しさを！

奥田 知史さん
(NPO法人 ROOTS(ルーツ) 代表)



“元気をくれる”植物を、
みんなに届けたい。

深谷 玲子(ふかや れいこ)さん
(南玲子ガーデンファーム 取締役)



シミュレーターに、
モノづくりの技を込めて。

田中 鉄三郎さん
(タツミ化成株式会社)



会うだけで笑顔になる、
バレエと元気の伝道師。

伊藤 美穂さん
(大府シティバレエ 有穂バレエスタジオ代表)



その勢いはロケットの如く！
鋼管ストーブに込めた夢。

金田 寿正さん
(Liftoff(リフトフ) 鋼管ストーブ工房 代表)



豆腐の達人たちが届ける、
笑顔とおいしさ。

代表取締役 沓名悟さん、
営業部長 沓名紘一さん(パイミート株式会社)



ブレイク寸前！『生きくらげ』で
成し得る、夢のカタチ。

成田 保秀さん
(国産きくらげ栽培販売 夢成(ゆめなり) 代表)



いい豆を煎りたてで。
本当のおいしさ、伝えたい。

加古 宗幸さん(CAFE MORRIS(カフェ モーリス)、
株ガレージミルク 代表取締役)



旅するようにカフェを営む、
自然体なふたり。

吉川 英明さん、里英さん
(cafe kaya (カフェ カヤ))



花も社員も豊かに育つ！
“考える”緑化活動。

柏木 茂さん
(柏木産業株式会社 代表取締役社長)



溢れるバイタリティで、
日本とネパールの架け橋に！

パラス・マニ・ポカレルさん
(株式会社 サミカトレーディング 代表取締役)



形状記憶合金でしなやかに！
夢とアイデアを広げて。

坂 一宏さん、春菜さん
(株式会社 吉見製作所 代表取締役社長、取締役)



時代に挑戦し続ける、
スゴ技クリーニング職人！

渡辺 健司さん
(横根クリーニング クリーニング師 写真左端)



健康は足元から！
靴選びに“予防”の視点を。

深見 貴英さん
(ウォーキング専門店 足軽家 代表)



COLUMN コラム

新型コロナウイルスの脅威を、共に乗り切る。

大府商工会議所20年の歴史の中でも、新型コロナウイルス感染拡大は今までに経験したことがない脅威でした。

それは、この時代を生きる誰しもが実感していることでしょう。

令和元年の終わりに中国湖北省武漢で初めて確認された新型コロナウイルスは、またたく間に全世界へと感染拡大し、社会・経済に甚大な影響を与え今日に至ります。

日本国内で感染者が出始めた令和2年2月、大府商工会議所は緊急経営相談窓口を設置。4月には県独自の緊急事態宣言、休業要請と混乱の一途をたどる中、会議所には多くの事業者が訪れました。

通常ワンフロアで運営する事務局を、ソーシャルディスタンスを鑑みて1階と2階に分け、さらにアクリル板で飛沫感染防止対策を開始。非接触でのオンライン相談も取り入れつつ、新型コロナウイルスの影響を受けた中小・小規模事業者の相談対応、政府・自治体の支援策の発信と活用など様々に対応しました。

刻一刻と変わる感染状況の中、日々変更される国や県の支援策。休業協力金、雇用調整助成金、持続化給付金等の申請手続きにと押し寄せる事業者の方々。

「よりスピーディに、少しでも事業者の方々のお役に立たなくては」そんな使命感で、情報の精査を徹底し、役職員一丸となって業務に臨みました。

情報収集にアンテナを張り巡らせ、他の市区町村で行っている支援も積極的に採用。テレワーク導入やテイクアウトデリバリー事業、業態転換や販路開拓の支援、最近ではDXの推進など様々な対策を打ち出しました。また、コロナ関連の商品開発に着手する事業者支援も積極的に行ってきました。

そんな先が見えない状況の中で励みとなったのは、顔なじみの事業者が真っ先に頼ってくれたこと。さらに、新型コロナウイルスをきっかけに会議所を訪れ、つながりができた事業者の存在も役職員の力となりました。

今後も事業者の皆様と共に力を合わせ、共に考え、時に導きながら、この難局を乗り切るべく、大府商工会議所は今皆様のパートナーであり続けます。



テイクアウト・デリバリーチラシ
テイクアウト・デリバリー新サービスチラシ (2020.5)



新型コロナウイルス感染症拡大に伴う
経営支援等について大府市へ緊急要請 (2020.4)



次亜塩素酸水を無償提供 (2020.4)



ドライブスルーテイクアウト (青年部) (2020.7)



テレワークセミナー (2020.11)



「Drive in Festivalおおぶ冬の陣」開催 (青年部) (2020.12)

大府商工会議所創立20周年記念事業実行委員会

(敬称略・順不同)

全体統括

委員長	鬼頭 佑治	協和工業(株)
副委員長	栗本 清次	イズミ工業(株)
委員	下畑 昌史	大府商工会議所

式典部会

統括	深谷 洋二	(株)ステーション・イン・大府
部会長	笹田 栄治	(株)山本鋳金
委員	加藤 大雅	(株)みかと
委員	三苫 雅彦	(株)三苫業務店
委員	佐々木 慎二	ササキ不動産販売(株)

事業部会

統括	花井 宏基	(株)花井組
部会長	牧之瀬 昭	(株)共和カメラ
委員	大矢 慎治	(株)ローザンヌ
委員	小山 祐一郎	(株)サンケイハウジング
委員	深谷 多恵子	(株)みどりや

記念誌部会

統括	鷺見 成起	愛協産業(株)
部会長	竹田 隆憲	engawa
委員	家田 宏	ひとまち応援隊 D'ART
委員	渡辺 淳一	(株)渡辺製作所

大府商工会議所 職員



あとがき

大府工会議所創立20周年を記念した「大府商工会議所20年のあゆみ」はいかがでしたでしょうか。

平成14年の創立から20年間の活動を紐解くと、社会・経済の変遷、自然災害や新型コロナウイルスの感染拡大など、その道のりは平坦なものではありませんでした。そうした厳しい状況の中、地域社会のためにという共通目標の下、一つひとつの課題に向き合い、一年また一年と積み重ねてきた歴史の年輪を感じずにはいられません。

その事業や特徴の中でも、ここに挙げるなら2つ。まず1つ目は、ものづくり王国愛知ならではの「ものづくり塾」(平成26年に「橋本実践塾」に改名)です。中小規模の製造業が軒を連ねる大府で、人材育成と現場力強化を実践的に学べる取り組みは、毎年多くの現場リーダーを輩出。各社の作業効率、意識改革、ひいては生産性の向上にも結び付けました。そしてもう1つは、様々な「連携」です。大府は、製造業のみならず商業、建設業、情報・物流・サービス業なども盛んです。その中で各々の業種部会による連携はもちろん、業種を超えたつながりやまちづくりの推進、さらに産学官連携によるプロジェクトの立ち上げなど、様々な交流が積極的に行われています。その結果、社業の直接的な発展や、地域貢献への想いが育まれます。

かく言う記念誌特別委員会も、異業種メンバーで案を出し合い進めてまいりました。専門分野が違うが故に、アイデアの方向性に幅が出来る、クリエイティブで楽しい作業となりました。

一般的に木の樹齢から見れば、年輪20年の木は「若い木」なのだそうです。

意欲的に、がむしゃらに突き進んだ大府商工会議所の20年。そのパワーと経験値を活かしながら、これからも豊かな年輪を刻むべく邁進してまいります。どうぞ今後の大府商工会議所にもご期待ください。

最後になりますが、本誌制作にあたり商工会議所会員並びに職員のみなさんにご尽力いただきましたこと厚くお礼申し上げます。

令和4年9月 大府商工会議所創立20周年記念事業実行委員会 記念誌部会 一同